

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	10月												11月								
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~1日	10月 ~8日	10月 ~15日	10月 ~22日	10月 ~29日	11月 ~5日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	30	46	63	57	67	75	49	29	5	7	12	6	17	8
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	37	55	103	120	108	102	56	52	12	5	10	10	12	15
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	2	2	7	7	13	25	6	12	3	2	5	2	1 (2)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	10	13	14	21	8	12	15	18	2	9	3	3	2 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	14	15	14	10	11	11	9	2	1	0	0	2	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第44週(10月30日~11月5日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	7	結核	7	1		3		2	1		
三類	0	発生なし	0								
四類	6	つつが虫病	1	1							
		日本紅斑熱	4			2			1	1	
		レジオネラ症	1			1					
五類	10	急性脳炎	1					1			
		百日咳	1							1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1
		梅毒	7			2		4		1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり21.56人の報告があり、増加が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が36件報告されています。手洗い、咳エチケット、換気、適度な湿度の保持などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 咽頭結膜熱

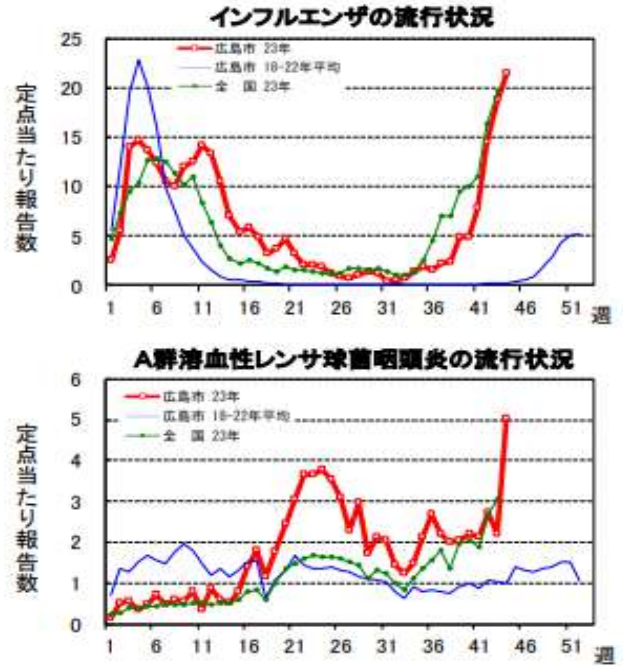
定点当たり1.74人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり5.04人の報告があり、前週の約2.3倍に急増しました。この報告数は、1999年の感染症法施行以降で最多となります。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.56人の報告があり、減少が続いています。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		
														↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
インフル	インフルエンザ	776	21.56	0.19		◇	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.34					
	新型コロナウイルス(COVID-19)	56	1.56			◇		流行性耳下腺炎	2	0.09	0.09					
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	0.32			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03					
	咽頭結膜熱	40	1.74	0.18		◇		流行性角結膜炎	6	0.75	0.30					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	116	5.04	1.01		↑	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-					
	感染性胃腸炎	90	3.91	3.11		◇		無菌性髄膜炎	-	-	-					
	水痘	2	0.09	0.19				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09					
	手足口病	26	1.13	0.85		◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	伝染性紅斑	-	-	0.13				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-					
	突発性発しん	5	0.22	0.30												

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ⇐ ⇓ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇓ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	105	70歳代、80歳代
5	急性脳炎	1	5	10歳未満
5	梅毒	4	245	30歳代・3人、40歳代・1人